



# 令和7年度 青少年赤十字 国際交流事業

開催  
報告



## 青少年赤十字

第38号

発行 日本赤十字社  
発行 三重県支部  
発行 令和8年3月

### 三重県支部での交流 ウエルカムパーティーと ホームステイ

10月25日(土)



三重県支部にて、ウエルカムパーティーを開催しました。白子高校・久居農林高校・熊野青藍高校（本校舎）の3校からJRCメンバー11名が参加してくれました。アイスブレイキングで伝言ゲームをして仲良くなり、タコ焼き器を使ってホットケーキを作って食べました。その後、活動交流を行い、JRC各校の紹介や海外メンバーとの文化交流の時間をもちました。

### ミャンマーとスリランカの JRCメンバー4名と交流しました

日本赤十字社本社が主催する国際交流事業では、国内外の青少年赤十字メンバーが交流を深め、「Think globally, Act locally」というテーマのもと「気候変動と人道危機」について話し合い、自分たちの具体的な役割を考えることを目的としています。  
今年度は令和7年10月24日～11月4日まで開催されました。アフガニスタン・中国・香港・サモア・ラオス・マレーシア・モルディブ・モンゴル・ミャンマー・ネパール・パキスタン・フィリピン・シンガポール・タイ・スリランカ・バヌアツ・ベトナム・ルワンダ・パラオと、計38名の海外JRCメンバーが参加しました。  
三重県支部には、ミャンマーとスリランカの高校生それぞれ2名ずつ4名が来県して、各校の生徒たちと交流を深めました。

夜には、奉仕団員のご自宅にてホームステイさせていただきました。手作りの食事のおもてなしや浴衣を着て大満足でした。ご協力ありがとうございました。

### 「One大安ハッピーレクレーション」参加

10月26日(日)



デンソー主催の「One大安ハッピーレクレーション」に奉仕団がブースを出展。一緒に参加しました。  
高田高校と交流 10月27日(月)  
午前中、イオン津南店でショッピングをして、午後から高田高校で交流しました。

### 熊野青藍高校 紀南校舎で交流

10月28日(火)

熊野青藍高校紀南校舎の皆さんと授業などの交流を行いました。書道・英語コミュニケーションⅡ・数学Aの授業と一緒に受けた後、茶道部の皆さんにお茶をたていただきました。



英語コミュニケーションの授業と一緒に受けてから、高田本山を案内していただき、仏青インテラークト部の皆さんに歓迎レセプションをしていただきました。

### 本社主催行事 国際交流集会に参加 (International Meeting "Tokyo 2025")

10月30日(木)～11月3日(月)

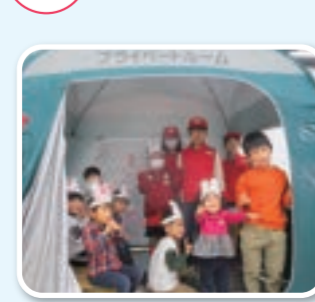
東京・国際オリンピック記念青少年総合センターで開催されたイベントに海外メンバーと熊野青藍高校本校舎の1年生1名が参加。海外メンバーとともに、気候変動や人道危機などのテーマで話し合い、自分たちができることを考えました。各国の文化や日本伝統なども交流でき、すばらしい経験ができました。



### 小学校 「きけんはっけん」



### 子育てサロン 「防災デイキャンプ」



**出前授業紹介**  
本年度の出前授業は、幼稚園・保育園・こども園で13園、小学校12校、中学校8校、特別支援学校2校、その他2団体の計37回実施しました。2,621名の園児・生徒さんと学ぶことができました。要請の多かった出前授業は、「きけんはっけん」「きもちよくいきるために」「手洗い体験」「炊き出し実習」「防災教育プログラム」「救急法」などです。防災教育プログラムでは、避難所体験ゲームの要望が多く、実際に災害用テントや段ボールベッドを組み立てたりしました。  
本年度は、社屋見学と合わせて防災プログラムを実施したり、PTA主催で学校の防災キャンプで実施することもありました。来年度もさまざまな出前授業を計画します。ご要望ください。

### 三重県青少年赤十字 活動報告



# 令和7年度三重県青少年赤十字 中学校連絡協議会 国際交流会

— スリランカ、ネパール、ミャンマーの方々との交流 — 令和7年12月6日(土)

令和7年度「中学校連絡協議会 国際交流会」は6校17名の中学生が参加して開催されました。午前中は各校が生徒会の活動内容を発表。午後からはスリランカ、ネパール、ミャンマーから来ている日本語学校の生徒の皆さんと交流を深めました。



令和7年度の参加校は、津市立西橋内中学校・津市立橋北中学校・津市立西郊中学校・津市立久居東中学校・津市立久居中学校・三重大学教育学部附属中学校の6校、計17名の生徒さんが参加しました。  
午前中は、参加された中学校の生徒会の取り組みを発表しながら交流し、今後、自分たちの学校で取り組んでいけることを検討しました。  
午後からは、三重日本語学校で学ぶ学生8名に加わっていただき、自国であるスリランカ・ネパール・ミャンマーの国々の文化や言葉などを教えていただきました。参加した中学生たちは習いたての英語で一生涯コミュニケーションを取ろうと積極的に関わり、有意義な国際交流会となりました。

**生徒の声**  
最初は緊張してなかなか会話が弾まなかったんですが、次第に打ち解けることができました。詳しい話を聞かせてもらって仲が深まり、あっという間に時間が経っていきました。



ネパール



班のみんなで協力しながらプレゼン内容を作り上げました

外国の興味深い文化に触れることができて、ワクワクしました。



ミャンマー

### 国際交流会

違う国の文化との共通点や違いを知ることで理解が深まり、おたがいを認め、受け入れ合う大切さを学びました。



**生徒の声**  
相手の国の文化や考え方を知る機会になりました。自分たちにとって当たり前なことが他国の人から見たら面白いことだと思われていたり、文化による認識の違いに気づくことができました。



スリランカ

**生徒の声**  
自分にとって当たり前だと思っていたことが、国が違えば全然違うこともある。この気づきは、相手を理解することの大切さにつながると思いました。

### 生徒会活動交流会



各校それぞれ、興味深い活動内容を発表しました。

6校の生徒たちが生徒会活動の取り組みや工夫を発表。ピンクシャツ運動やあいさつ運動、意見箱の設置など、さまざまな取り組みが報告されました。他校の活動に刺激を受け、自校での取り組みに生かしていきたいという声が多く聞かれ、有意義な時間になりました。

**生徒の声**  
他校の取り組みを聞いた、意見交流を通して、同じ中学生でもさまざまな考え方があると知りました。自分たちの学校の良さや課題を改めて考えるきっかけになりました。

**生徒の声**  
みんなで話し合い、アイデアを出し合うことで、違う学校・学年の壁を越えることができました。自分の意見をはっきり言うこと、相手の意見に耳を傾けることが大切だと思いました。

参加校 津市立西橋内中学校・津市立橋北中学校・津市立西郊中学校・津市立久居東中学校・津市立久居中学校・三重大学教育学部附属中学校

**編集後記**  
令和7年度は、青少年赤十字に加盟していた学校が昨年度よりかなり減少しました。これは、学校・園の統廃合が進み、学校の数が減っていることが影響しています。しかしながら、加盟校・園では、とても素晴らしい取り組みや工夫をいただいています。改めて、青少年赤十字活動を学校教育に取り入れてもらっていることに感謝を申し上げます。  
本年度は小学校トレセンを15名の参加、日帰り2日間を実施しました。青少年赤十字が大いに活躍した「気づき」「考え」「実行する」ためのプログラムとして「ホームルームVS」掲示板「発見」などの取り組みを行い、新社屋ならではの防災教育も実施できて、とても有意義な内容にすることができました。なにより、参加した児童が「とても楽しかった。来年も参加したい」と言ってくれたことに勇気をいただきました。今後につなげていきたいと思いました。  
また、新社屋が完成したことで、防災デイキャンプを実施してくれた団体があります。赤十字の強みを生かした防災プログラムも実施でき、今後の発展に期待できることとなりました。  
来年度も、どうぞよろしくお願いたします。

令和7年12月13日(土)

## 令和7年度 三重県青少年赤十字のつどい

令和7年12月13日(土)、鈴鹿ハンター1階センターコートで「三重県青少年赤十字のつどい」が開催されました。5校62名のJRC部メンバーの高校生たちが趣向を凝らしたイベントブースを出展。他校の生徒たちとの交流を深めるとともに大勢の来場者の方にイベントを楽しんでもらい、赤十字の活動への理解を深める特別な1日となりました。

### 缶バッチ作り・クリスマスカーリング 白子高校



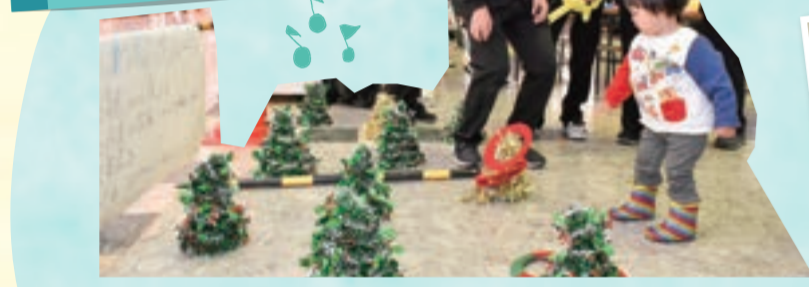
**生徒の声**  
大きな声で募金を呼びかけていたら、たくさんの方が足を止めて募金に協力してくれました。1円玉や5円玉を大量に持ってきてくれた方も、お札を入れてくれる方も。周りの人への感謝の気持ちや、これからも誰かのために活動したいという思いが強くなりました。



13名のJRCメンバーが参加。早い段階から準備を重ね、ブースでの缶バッチ作りやクリスマスカーリング、ステージでの演技披露、さらに募金活動への参加など、メンバー全員が力を合わせて幅広い活動を行いました。

熱心にカーリングに挑戦する子どもたちを優しく見守る生徒の姿が印象的でした。

### クリスマス輪なげ 木本高校



31名のJRCメンバーが参加。大勢の子どもたちにクリスマス輪なげやバルーンアートを楽しんでもらいました。他校の生徒たちとも積極的に交流し、今後の自校での活動に生かしていこうという意欲が高まりました。

### 募金活動・感謝状贈呈



生徒たちが鈴鹿ハンター入口に立ち、NHK海外たすけあい募金への協力を呼びかけました。多くの方に募金していただいたり、励ましの声をかけていただき、人の持つ優しさを感じる機会になりました。ステージではNHK海外たすけあい募金協力校への感謝状贈呈も行われました。

### リーダーとして取り組んだ感想

リーダーを務めることに不安もありましたが、周りとの協力しながら進めることで達成感や自信を感じられました。リーダーとはグループの先頭に立って他のメンバーを導くような存在だと思っていました。しかし、トレンなどで他のメンバーの行動を見ていて、意見を出す人だけでなく意見を聞く人、他のメンバーのサポートする人など、一人ひとりが班のために行動することがリーダーシップなんだと思うようになりました。



### 第3回青少年赤十字高等学校連絡協議会・顧問会議 3年生を送る会を開催しました。

令和8年2月14日(土)、第3回青少年赤十字高等学校連絡協議会・顧問会議を三重県支部にて開催しました。これには、白子高校・高田高校・熊野青藍高校木本校舎・紀南校舎の生徒30名が参加しました。第3回は、1年間にわたって協議会を引っ張ってきてくれた3年生の皆さんへの感謝の気持ちをこめて、「3年生を送る会」として実施しています。午前中は、参加された各校の1年間の取り組みを発表しながら交流をしました。午後からは3年生の皆さんと一緒にゲームをして楽しみました。三重県支部からは生徒リーダーへ感謝状を贈呈させていただきました。3年生からは在校生へ心温まるメッセージをいただきました。高校を卒業しても、「苦しい人によりそう」白赤の精神でがんばってください。



### クリスマスオーナメント作り 飯野高校



**生徒の声**  
他校のブースを色々と回って交流を深めることができました。活動報告では自分たちが手がけていない活動を知ることができて、今後の活動の参考にしていきたいと思いました。

一生懸命作ったオーナメント。大事に持ち帰っていました。



10名のJRCメンバーが参加。クリスマスオーナメント作りでは子どもたちだけでなく、来場された幅広い年齢層の方たちとふれあうことができ、参加したメンバーにとって、さまざまな人と関わることの大切さを学ぶ経験になりました。

### 髪クリップデコレーション体験 障がい者関係展示・クイズ 紀南高校



子どもたちとふれあう時間、私たちも楽しませてくれました。

**生徒の声**  
部員全員が集まれる機会が多くなかったけれど、各自役割を決めて動くことで上手く連携を取りながら作業を進めることができました。早め早めの行動や仲間と協力することの大切さを改めて学ぶ機会になりました。準備の段階から全員積極的に動いてくれたのが凄く嬉しくてありがたかったです。

### 正月飾り・農林ミカン販売 久居農林高校



メンバーが制作した正月飾りや学校で育てた農林ミカンの販売を通じて、来場者の方と交流を深めました。活動内容の発表では1年生のメンバーが壇上に立って、大勢の仲間が見守る中で堂々とプレゼンを行う姿が見られました。

### 小学校金管バンド演奏



鈴鹿市の玉垣小学校・神戸小学校の子どもたちがステージで金管バンドの演奏を披露。日頃の練習の成果を見事に発揮してくれて、会場を大いに盛り上げてくれました。

